

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ごーでんえっぐ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育における、さらなるコミュニケーション能力向上の効果、楽しい活動内容	かたきや気配切り、マット運動など、他の子と競争したり、相談したりする機会を増やし、コミュニケーション能力向上、運動機能増強を図っている。	定番の活動だけでなく、色々なアイデアを取り入れてレパートリーを増やし、活動の幅を広げていく。
2	運動療育にふさわしい活動スペース	室内に限らず、地区の体育館や公園、スケート場やプールなども活用して、児童たちがのびのび活動できるように配慮している。	外活動ができる季節や天候を利用して、できる限り思い切り運動できる場を提供していく。
3	他デイサービス、児童館、地域の他の児童との関わりが増加	公共施設や公園等の活動で他児童との関わりを行っている。他施設との交流などはまだ行っていない。	今後は他デイサービスや児童館などとの交流も活動の中で取り入れるように職員間で話し合いを設けて、実現に向けて進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の選択肢が少ない	活動内容を増やすためにミーティング等も行っているが、スタッフが運動系の経験が乏しく、なかなか新しいアイデアが浮かばない。	経験豊富な他店スタッフやPCから情報を入手する時間を作り、選択肢の幅を広げていく。
2	資材、玩具、活動用備品が少なく、老朽化している	必要な備品・資材等を精査していない。	単発ではなく、いくつかの活動にも応用できるものをピックアップし、徐々に揃えていく。
3	スタッフの多くが、児童発達支援に関して経験が浅い。	ミーティング時の口頭指導や活動時の実際の動きに対しての指導も行っているが、あまり多く時間が取れていない。	出来る限り時間をとり、児童発達支援に関して多くのことを伝える努力を重ねる。参考資料等の情報も提供し、自己啓発も行うことができるよう配慮する。